

「中山間地域における要支援・要介護高齢者の転出に関連する要因」に関する研究のお願い

平成 28 年(2 月 8 日

和歌山県立医科大学保健看護学部では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去に行政が調査して公表されている情報や保管している、介護保険事業の情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という疫学研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる方々に新たに何かをお尋ねするということではなく、直接にご連絡をさせて頂くことはありません。また、対象となられた皆様の情報は個別に検討するのではなく、地域をひとまとめにして健康に関わる検討を行います。この研究の対象に該当すると思われる方またはご遺族の方で、介護保険事業の情報が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の7. 問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

中山間地域における要支援・要介護高齢者の転出に関連する要因

2. 研究責任者

谷野多見子（和歌山県立医科大学保健看護学部・助教）

3. 研究の目的

本研究は中山間地域の要支援・要介護状態にある高齢者の転出者と死亡者の介護保険事業の利用状況を検討することで、要支援・要介護状態の高齢者が中山間地域で安心して過ごすための支援のあり方を検討することを目的とします。

4. 研究の概要

(1)対象となる方

すさみ町内で要支援・要介護認定を受けられた方で平成 23 年 4 月から平成 28 年 3 月迄に転出(転居を含み、住所変更がなくても生活の拠点を移動させた方)または、死亡された方が対象になります。

(2)利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、介護保険認定調査票、介護保険サービス利用票等の介護保険事業に関する情報です。

(3)方法

すさみ町内に 5 年以上在住し、要支援・要介護の認定を受けた高齢者のうち、平成 23 年 4 月 1 日からの 5 年間に転出および、死亡した方の介護度や介護保険のサービス利用状況等を縦断的に解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報は匿名化され、本人を特定できる個人情報は含まれません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も個人が特定されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

この研究は介護保険サービスの改善や公衆衛生看護学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身またはご遺族の方で介護保険事業関連の情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、保健医療福祉サービスを含め、いかなる不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市三葛 580 番地

和歌山県立医科大学保健看護学部 担当 谷野多見子

TEL:073-446-6700 FAX:073-446-6720 E-mail:tani-no@wakayama-med.ac.jp